

うたた寝

電車の窓を射し込む朝日は暑く
その斜面には髪振り乱したモーツァルトが踊り
「諦めるがいい、諦めるがいい」と触れ回る
庶民どもはまんまとその罠にかかり

うたた寝の^{うち}中にのみ幸福を夢見ている

生活とは則ち、給料と休暇との争いであるが故
お目覚めの中に夢見ることが許されぬ
創造はかなわぬが故
古典に異論を唱えることは無論できませぬ
これでは踊らずにはいられまい
庶民がおおいつくした現代であってみれば

(1991.7.20)